

第74回 埼玉県統計グラフコンクール 入賞作品集

絶滅危惧種 **タガメ** を増やそう はじめに

環境省レッドリスト2020によるとタガメは、絶滅危惧Ⅱ類とされており、埼玉県レッドデータブック動物編2018によると、県内ではほぼ絶滅に近い状態となっている。このタガメを飼育下で繁殖させ、成虫までより多く育て、放流するため、飼育記録と分析を行った。

2024年6月1日～7月31日 自宅で育てたタガメの記録

産卵

1回の産卵で80～100個の卵を産む
産卵回数が多くなるにつれて、生まれる卵の数は減る？

■産卵回数と卵の数



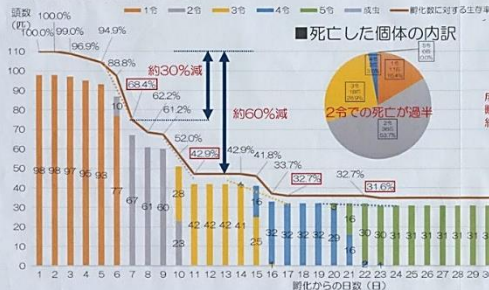
結果は× 1組のペアが産卵する回数と卵の数に関係性は見られなかった。

孵化後を1令幼虫と言い、その後、4回の脱皮を繰り返し5令幼虫になる。そして、最後に6回目の脱皮（脱化）を行い成虫になる。

孵化～羽化 成虫へ

1回目の産卵で孵化した98匹は、その後どうなった？

■孵化からの日数と生存率



■孵化からの日数と成長曲線

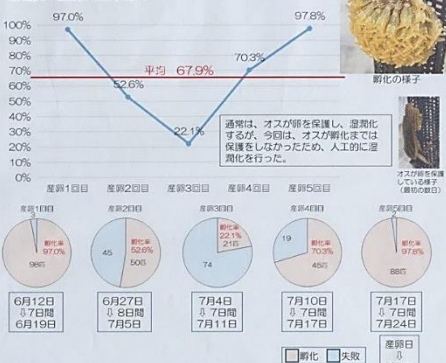


孵化



孵化率を上げるにはどんなことに注意する必要がある？

■産卵回数と孵化率



【飼育の状況と考察】

- 産卵1回目：暑さがまだきつなくて、エアコンをあまり使っていなかったため孵化率が高いと考えられる。
- 産卵2～4回目：エアコンによる乾燥の影響で卵の殻が固くなり、孵化の障害となったと考えられる。
- 産卵5回目：2～4回目の反省から、頻繁に霧吹きで卵を湿潤化した。この結果、高い孵化率となった。

卵を湿潤状態にしておくことが大切と考えられる。



【考察】

- 2令になった段階で生存率が約30%減少、3令になった段階では、約60%減少している。
- 成虫時点では、約70%減少している。
- ⇒3令になるまでに大幅に生存率が減少、1令から2令や2令から3令に脱皮する頃に生存率が著しく低下した。

○考えられる原因

- ＜自然に起きる問題＞
- 異令による共食い：成長の早い3令が遅い2令を捕食等
- 脱皮不全：脱皮中にエサの魚が囓れる等
- ＜人工的に起きる問題＞
- 障害物に挟まる事故：鉢底ネットと水槽の隙間等
- 餌不足による共食い：餌が隠れられる場所がある場合等
- 水面の浮遊物で呼吸困難：餌の魚による油膜等

- 4令からは個別飼育をしたため、生存率があまり下がらなかったと考えられる。

※ 集団飼育は個別飼育に比べ、水替えや餌やりが容易だが、共食いや脱皮不全のリスクが高い

※ 個別飼育は集団飼育に比べ、水替えや餌やりに手間がかかるが、共食いはなく、脱皮不全のリスクも低い

98匹中、31匹羽化 生存率31.6%

今回の記録、分析を踏まえ、来年はより多くの成虫を放流したい。

は じ め に

「埼玉県統計グラフコンクール」は、統計グラフの作成を通じて統計への理解と関心を深めていただくことを目的として、昭和25年から実施しており、今回で74回目を迎えました。

今回は、県内各地から492人という多くの方々の参加をいただき、314作品の応募がありました。

日常生活で感じている課題に対して、アンケートを取ったり資料を調べたりして得られた統計を、グラフ化して解決に導くという作品が多く見られました。調べる対象も身の回りの人や日本全国、海外など、多角的・多面的によく分析している作品もあり、視点・題材選びが新しい作品が目を引きました。

この作品集には、応募された作品の中から厳正な審査を経て選定された埼玉県知事賞（1等）、埼玉県教育長賞（2等）、埼玉県統計協会会長賞（3等）の入賞作品30作品を掲載しています。この作品集が、今後コンクールに応募される方のよき参考となり、また、県民の皆様が統計グラフに親しんでいただくきっかけとなれば幸いです。

最後になりましたが、御応募いただきました皆様方や御指導くださいました方々に深く感謝いたしますとともに、今後とも統計教育の推進に御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年3月

埼玉県総務部統計課長 福田 和有

も く じ

第1部	1
第2部	5
第3部	9
第4部	13
第5部	17
第6部	21
応募、審査の概況	25
統計グラフポスターの作り方、作品募集	26

[illegible]

おさつのかおはどんな人？

久喜市立久喜小学校 1年 富山 蒼月

紙幣のデザインは2004年以来、20年ぶり変更となりました。今回のコンクールでは、そのお札という身近な話題を取り上げ、これまでのお札でどのような人物が選ばれているのかを、予想を立てながら、丁寧にまとめていました。また、調べるにあたって、本等で調べたり、貨幣博物館を訪れたりしたことで、デザインや人物だけでなく、歴史的な背景等にも触れることができたのではないかと思います。そして、必要なものを取捨選択しながら、見る人が興味・関心を高める作品にまとめました。

第1部(小学1・2年生の手描きの部)

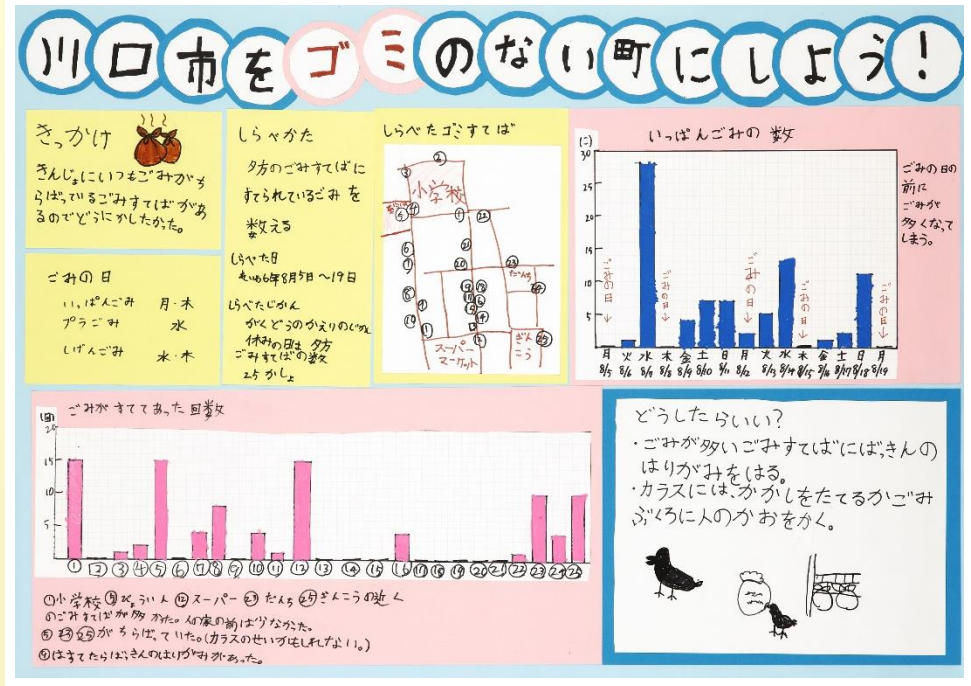


れいわのランドセルちょうさ

久喜市立東鷲宮小学校 1年 中村 瑠奈

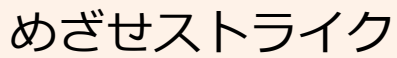
全国コンクール入選

紫色のランドセルが大好きなことをきっかけに、令和生まれの他の人は何色のランドセルを使っているのか、また、平成生まれのランドセルの色などを調べ、時代の変化とともにランドセルの変遷を、表にまとめていました。集計等を行うにあたって、児童70人、平成生まれの大人70人と、数多くの人へのアンケートを実施し、様々な苦労があったことと思います。また、表の工夫としてランドセルの色と花の色を合わせたり、男女別に分けたりしていました。そして、令和と平成の男子、女子のランドセルを選ぶ特徴を感想でまとめ、今後、どのようなランドセルが人気になっているかという期待も丁寧に書かれておりました。



川口市をゴミのない町にしよう！

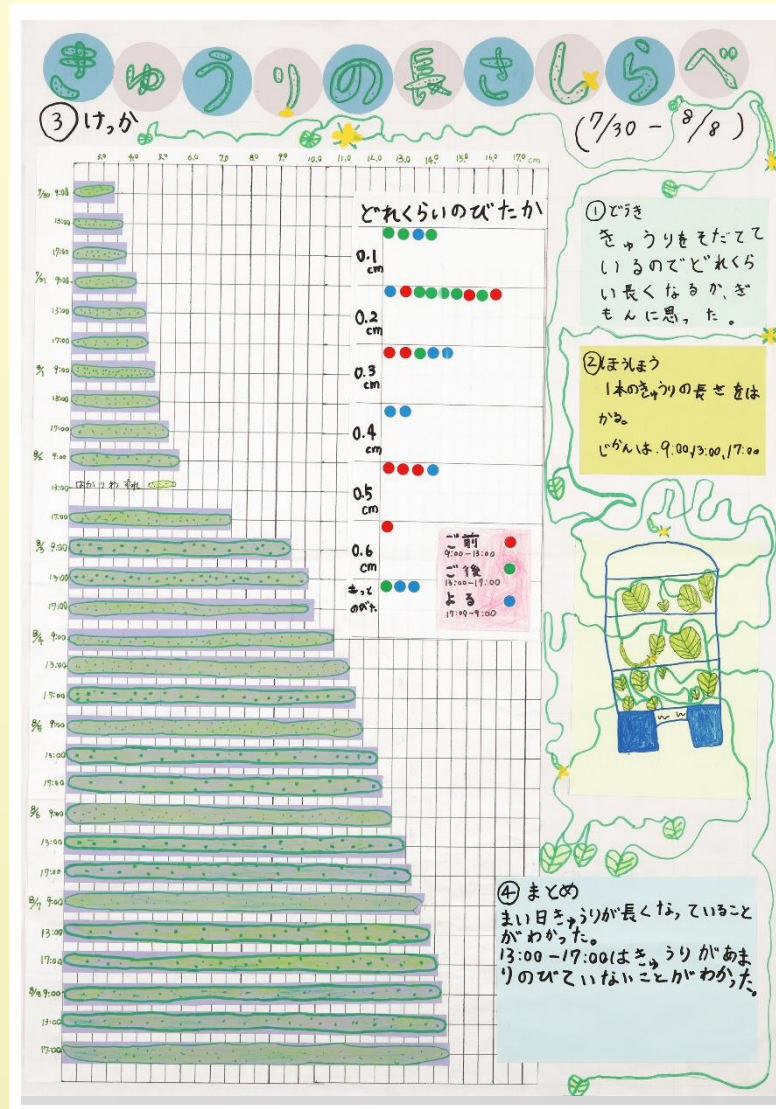
川口市立芝南小学校 2年 石川 絢花



新座市立石神小学校

1年 加藤 晴





きゅうりの長さしらべ

川口市立柳崎小学校 2年 菅原 栞里

こども・おとな・おじいちゃんおばあちゃん
しょうがくせいときしらべ

川越市立川越第一小学校

1年 峯岸 大和



第2部(小学3・4年生の手描きの部)

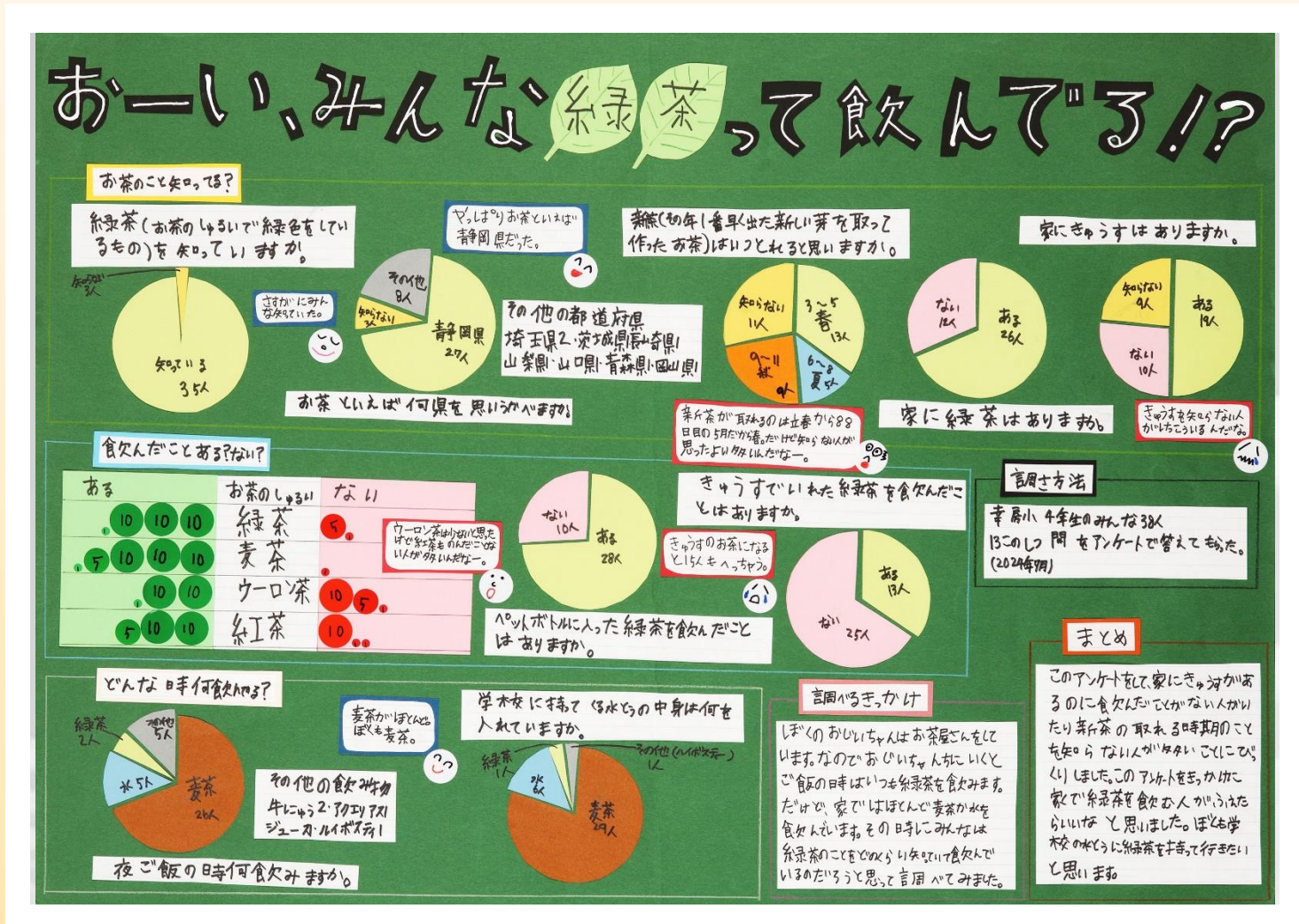
[illegible]

どすこい！おすもうさんのけんこうのひけつちゃんこなべ
ちゃんこなべのなかみはなあに？

佐藤栄学園さとえ学園小学校 3年 八木橋 結人

お相撲さんの健康と力持ちの秘密を知りたいということを動機に、実際に8つの相撲部屋にアンケートを実施しました。アンケートでは、
具材や味付けなど表としてまとめる要素を事前に見通しを立てて、実施したことで、様々な項目を表に丁寧にまとめることができたので
はないかと思います。また、ちゃんこの食事の回数、栄養等をまとめることによって、健康や体作りに必要な食事の重要性についても、
発見するきっかけとなる作品になっておりました。

第2部(小学3・4年生の手描きの部)



おーい、みんな緑茶って飲んでる!?

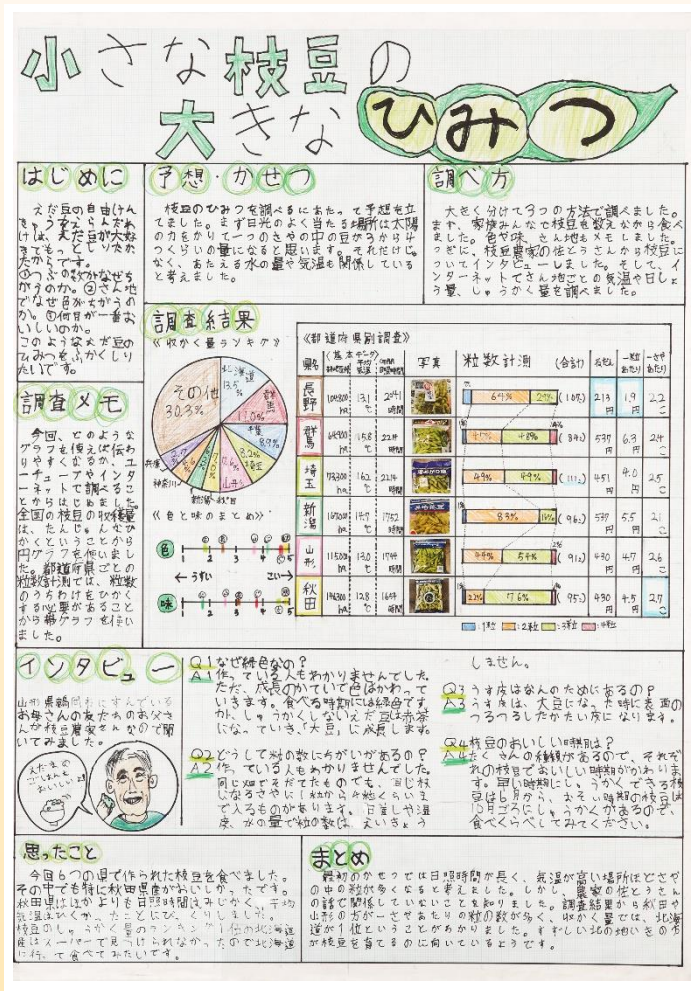
三郷市立幸房小学校 4年 池田 綾人

全国コンクール 佳作

家族の職業を出発点に、興味を持ったことを考察できています。緑茶に関する周りの人の意識や知識について、順序立てて質問の対象を広げながら、データを集めることができました。飲料ごとに色を変えてグラフを作成する、調査結果のグラフへの感想を載せるなどの工夫を交え、統一感がある色でポスター全体がきれいにまとめられています。



第2部(小学3・4年生の手描きの部)

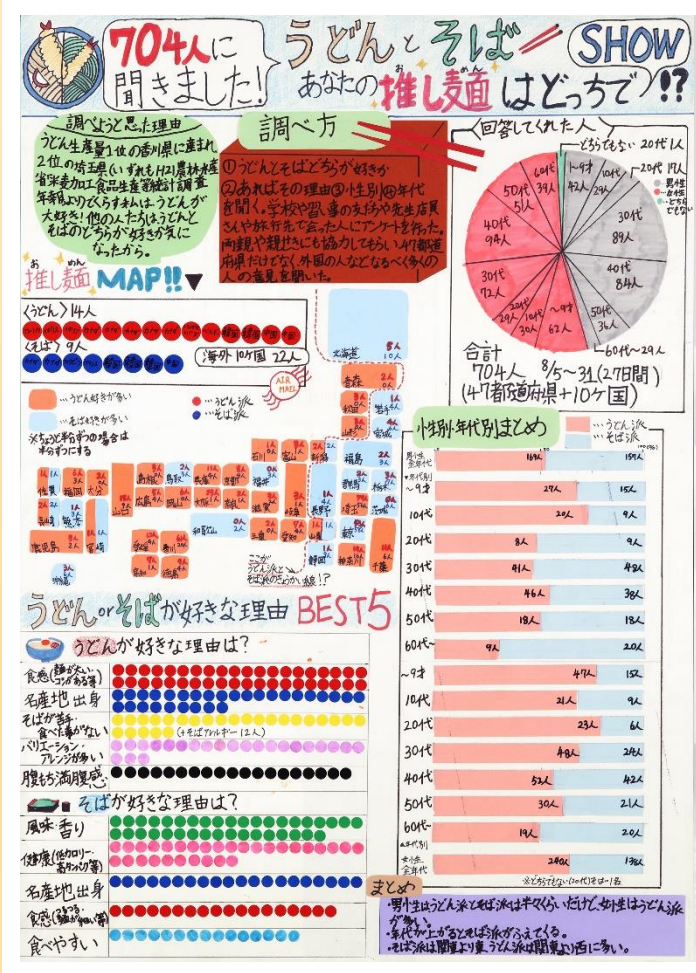


小さな枝豆の
大きなひみつ

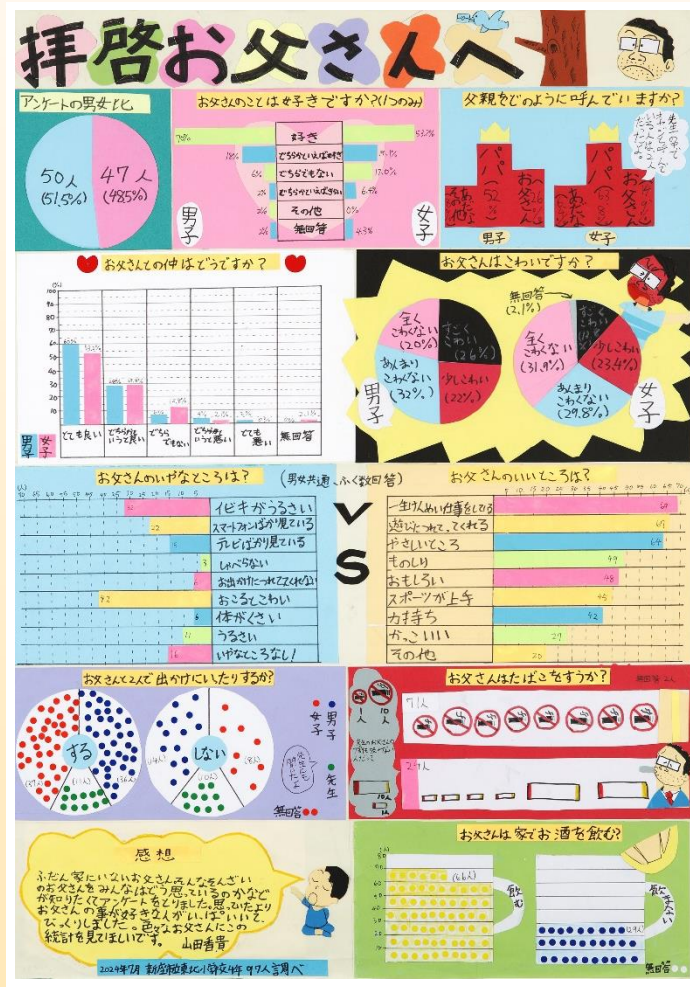
三郷市立幸房小学校
4年 渡 太一
3年 渡 陽向

704人に聞きました！うどんとそば
あなたの推し麺は
どっちでSHOW！？

佐藤栄学園
さとえ学園小学校
4年 高橋 春佳



第2部(小学3・4年生の手描きの部)



拝啓お父さんへ

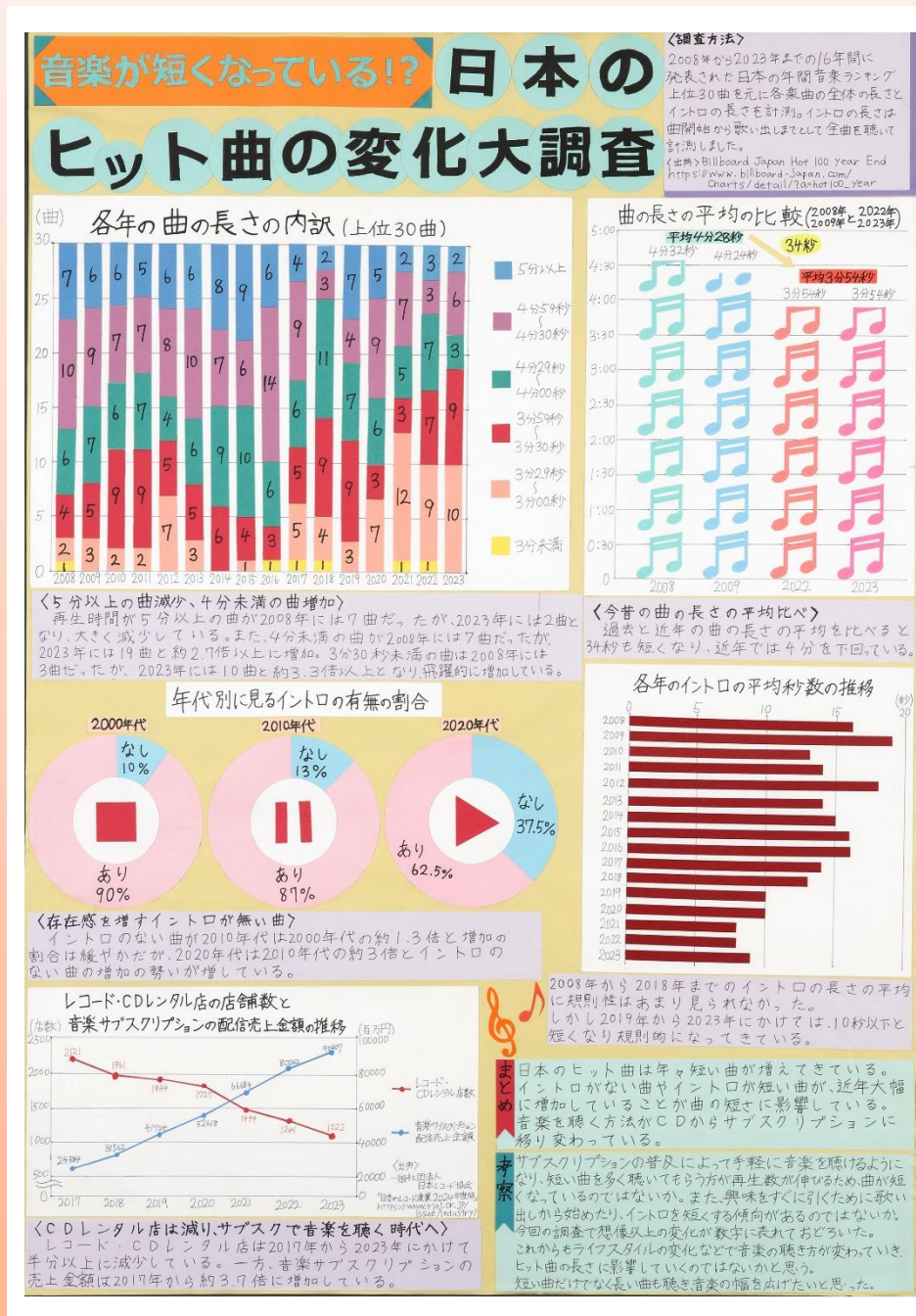
新座市立東北小学校 4年 山田 香貴

私の家では、どのくらい埼玉県産の物を食べているの？

川越市立大東西小学校 3年 中島 雫



第3部(小学5・6年生の手描きの部)



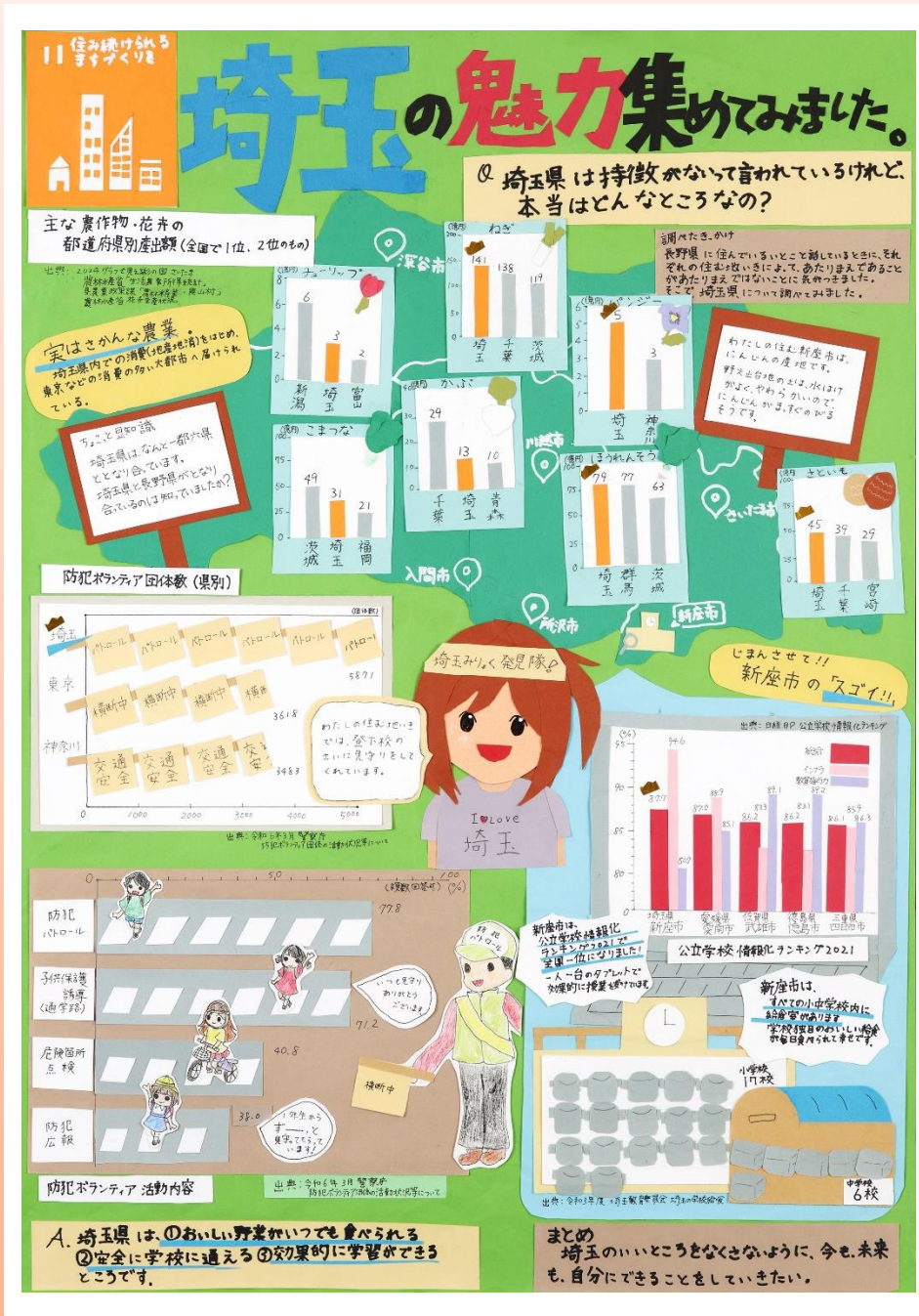
音楽が短くなっている!?

日本のヒット曲の変化大調査

朝霞市立朝霞第八小学校 5年 杉本 美織

楽曲提供サービスの变化と、曲の長さやイントロの有無との関連性を調査する着眼点が、時流を捉えられていて良いです。集めたデータをもとに、双方の相関関係について考察できました。グラフも読み取りやすく、音楽をモチーフにした、まとまりのあるポスターに仕上げられています。また、イントロの長さを計測した努力も評価できます。

第3部(小学5・6年生の手描きの部)



—住み続けられるまちづくりを—

埼玉の魅力集めてみました。

新座市立栗原小学校 5年 塩川 七緒

横断歩道を棒グラフに見立てたり、食缶や旗を積み上げグラフに用いたり、見て楽しい工夫が随所になされています。農作物などの細かい装飾も含め、一つ一つ色紙を用いて、立体的に丁寧に作りこむことができました。自身の住む市のデータも合わせて載せることで、市と県の魅力に関する多くの情報を発信できています。

埼玉県
統計協会
会長賞
(3等)



新座市立栗原小学校

5年 内藤 環



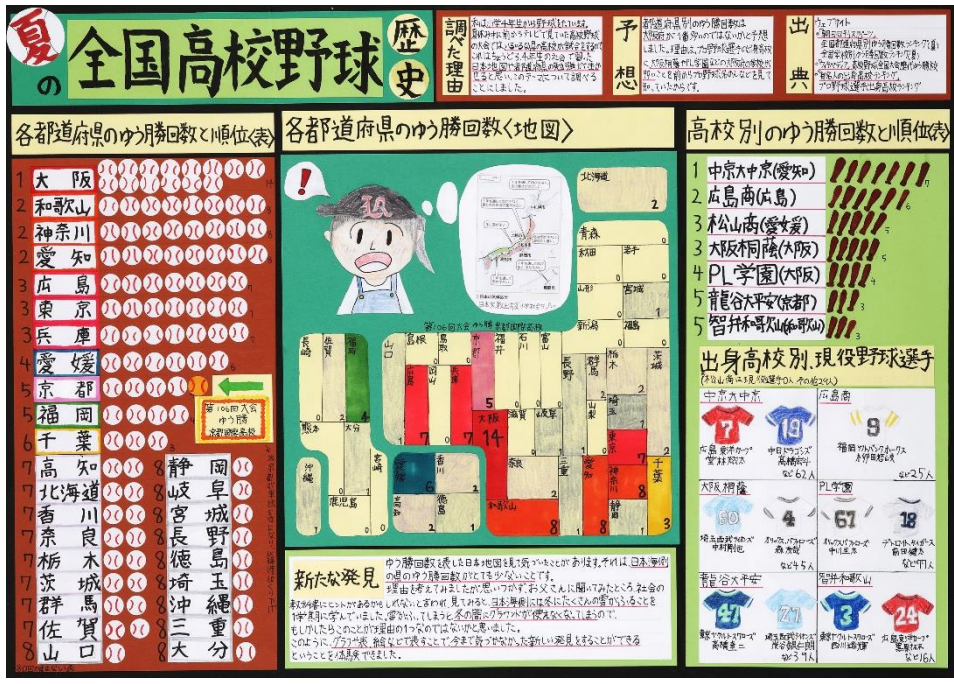
埼玉県
統計協会
会長賞
(3等)

大人に聞いてみた！！
人生振り返ってやって
おけばよかった事

川口市立鳩ヶ谷小学校

6年 藤野 詩

第3部(小学5・6年生の手描きの部)



夏の全国高校野球歴史

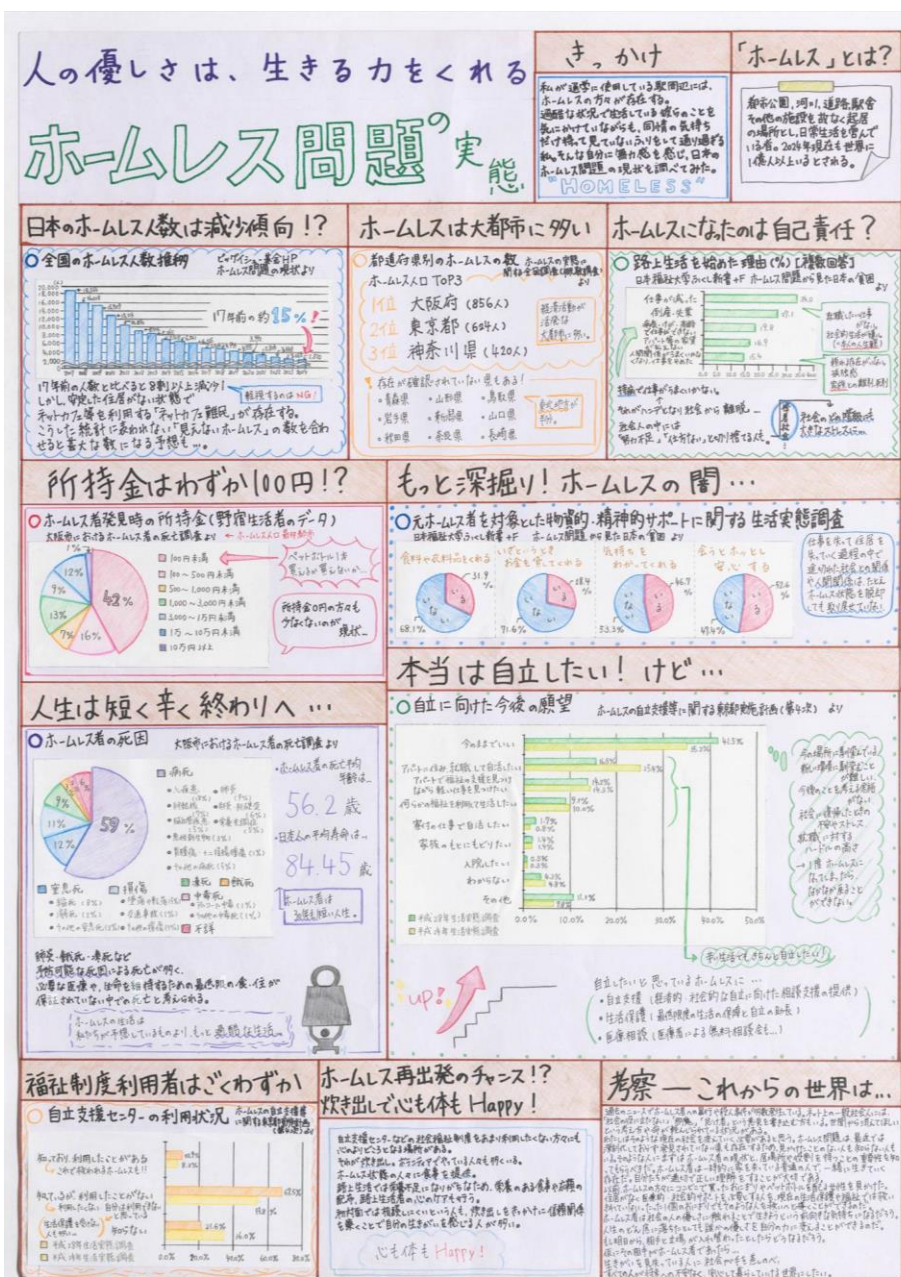
川越市立川越第一小学校 5年 青木 音寧

本って必要？

新座市立東野小学校 6年佐藤 陽菜乃



第4部(中学校の手描きの部)



人の優しさは、生きる力をくれる

ホームレス問題の実態

佐藤栄学園栄東中学校 2年 阿部 美馨子

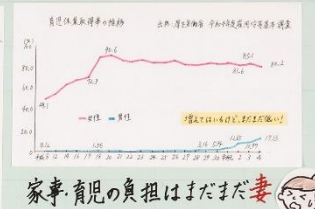
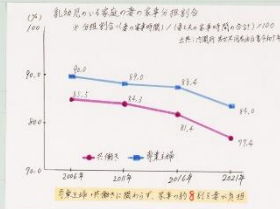
全国コンクール入選

日常の中で気が付いた社会問題に課題意識をもって調査を進めることができました。調査内容にストーリー性がありました。ホームレスの状況にから始まり、自立に向けた取組へと流れていく構成が、読み手に分かりやすかったです。また、限られた紙面の中に、多くの情報を掲載することができています。

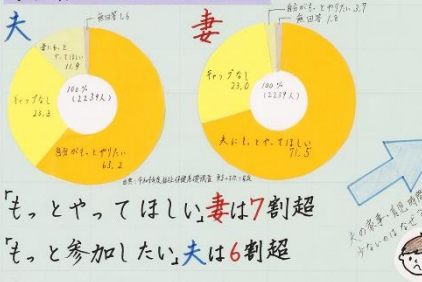
第4部(中学校の手描きの部)

夫婦で家事・育児をしていますか？

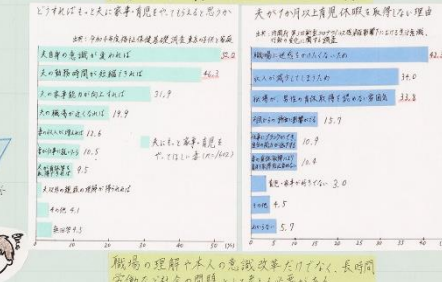
家事・育児の現状



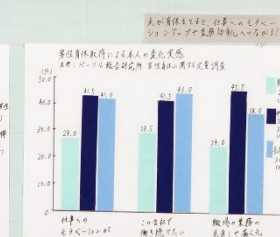
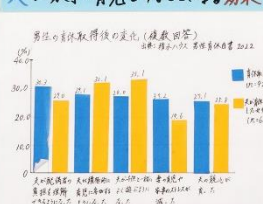
家事・育児についてどう思っている？



夫の家事・育児参加を阻む事情



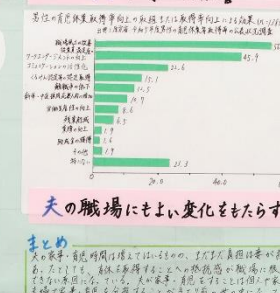
夫が家事・育児をすることによる効果



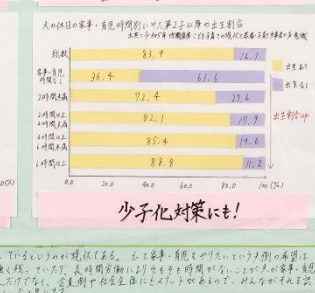
夫婦の気持ちにプラスの変化



夫の仕事に好影響



妻も仕事を続けられる



まとめ

夫の職場にもよい変化をもたらす

少子化対策にも！

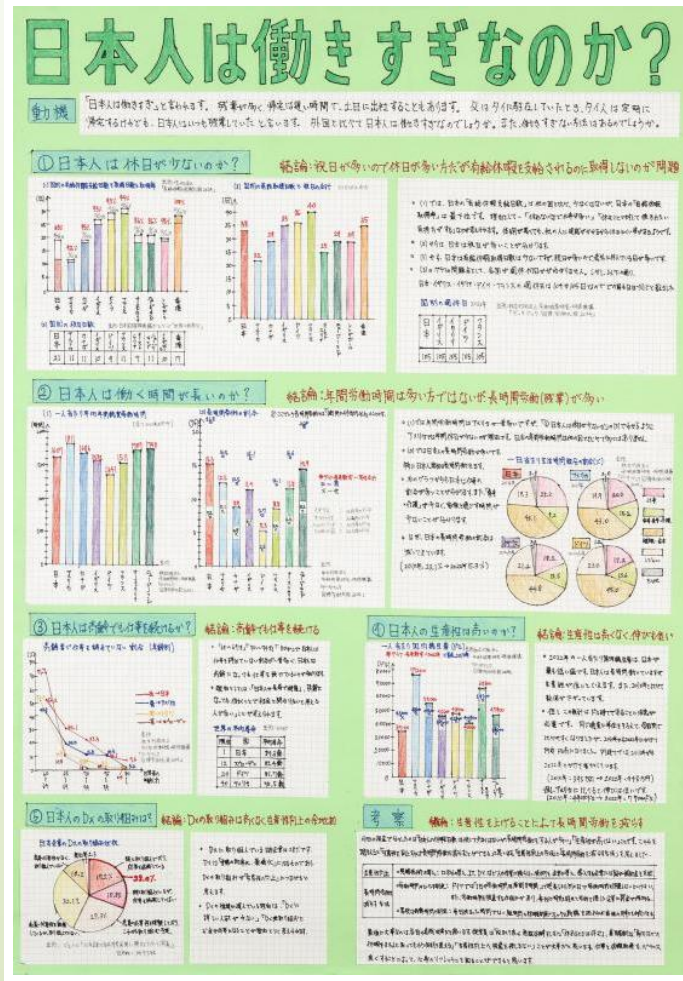


夫婦で家事・育児をしていますか？

埼玉大学教育学部附属中学校 2年 小野 来実

家事・育児に関する夫婦のかかわり方について、現状を的確にとらえていました。それに基づいて、夫の家事・育児への参加を阻む要因、さらに、家事・育児への参加によるメリットへと、分かりやすい構成でした。それぞれのグラフの下部に、グラフから読み取れることが端的に記載されていたのが効果的でした。

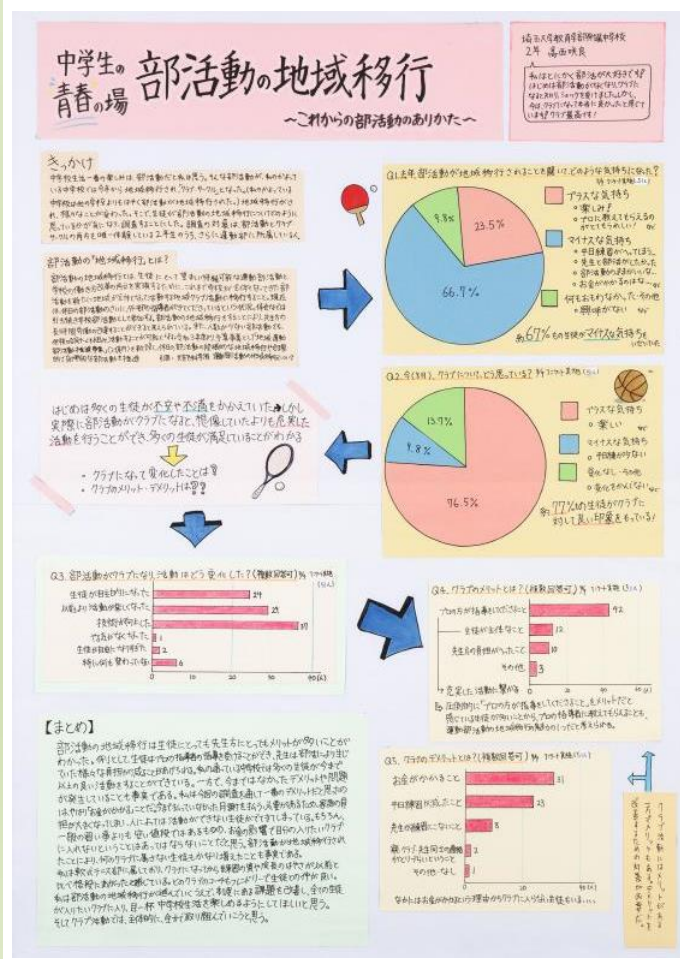
第4部(中学校の手描きの部)



日本人は働きすぎなのか？

埼玉大学教育学部附属中学校

2年 小池 凜歩



中学生の青春の場
部活動の地域移行
～これからの部活動のありかた～

埼玉大学教育学部附属中学校

2年 高西 咲良

第4部(中学校の手描きの部)



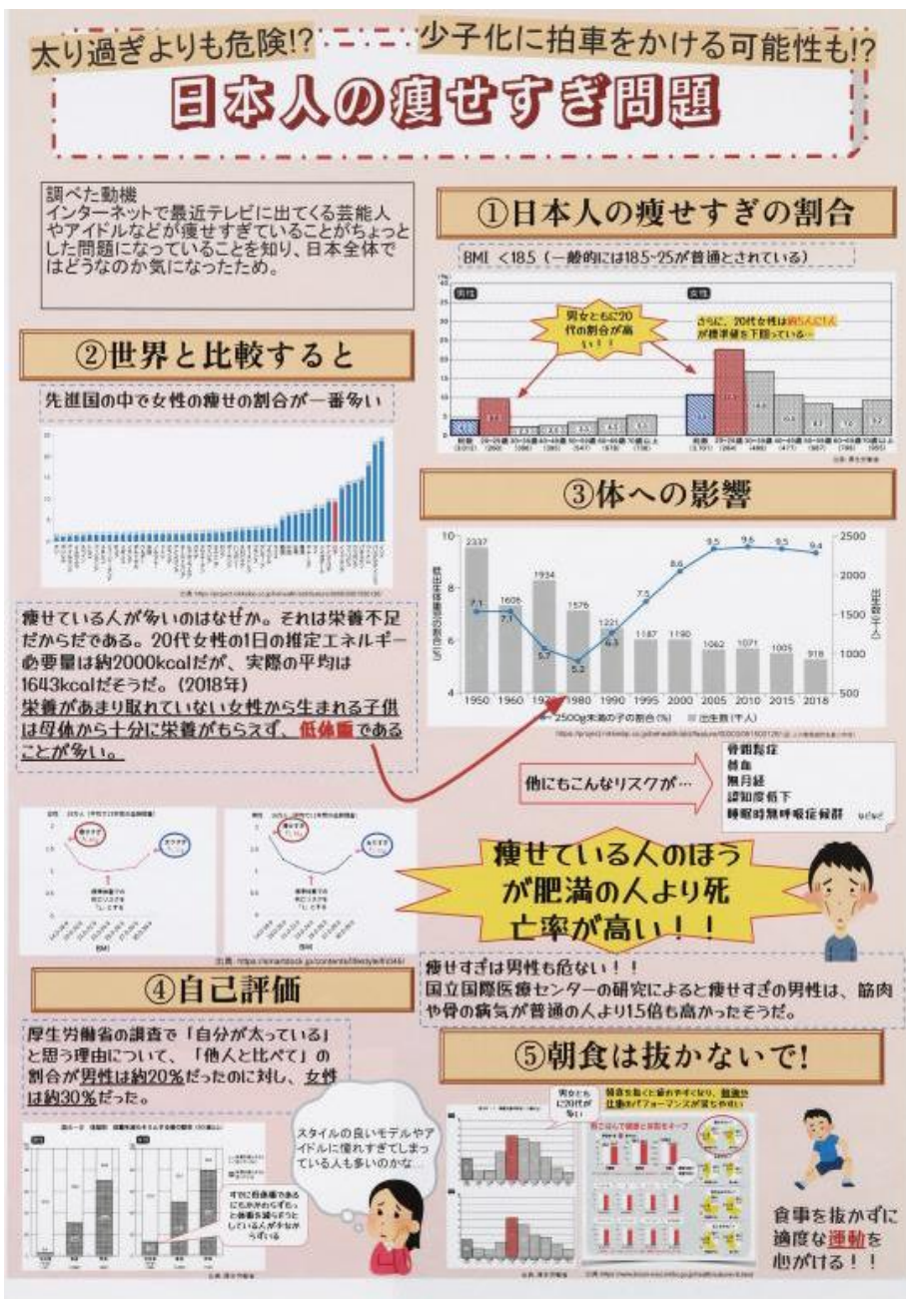
救急車、正しく使っていますか??

さいたま市立大宮国際中等教育学校 1年 湯澤 暖

日本をカメムシから守れ!

さいたま市立大宮国際中等教育学校 1年 田村 夏実

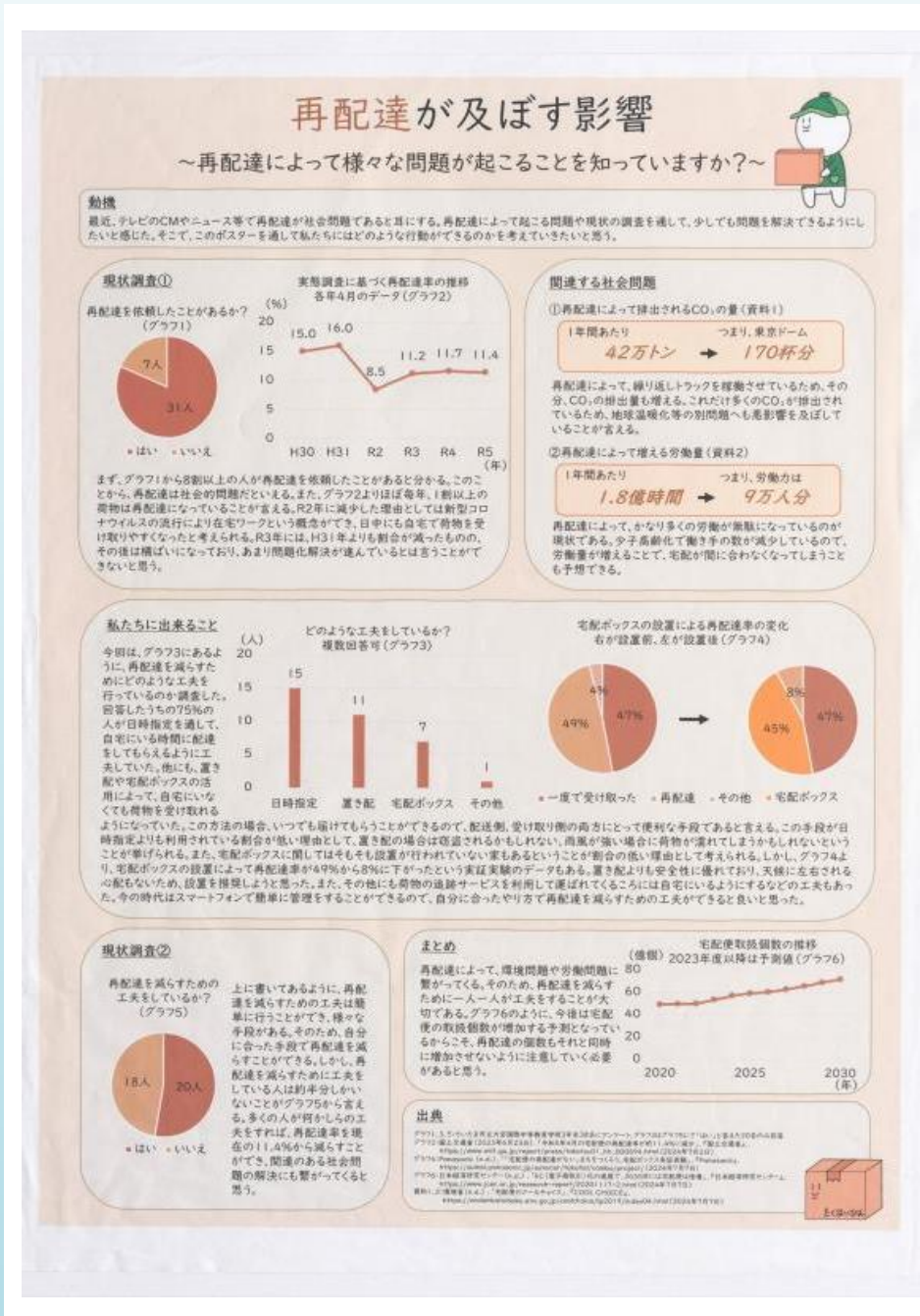




日本人の痩せすぎ問題

佐藤栄学園栄東中学校 2年 福島 朱莉

パソコンを使った作品らしく、グラフの中に注釈を入れ、読み手が読み取りやすくなるような工夫が見られました。また、発色もよくまるでポスターのようでした。グラフにはタイトルが入るとさらに読み取りやすくなると思われます。



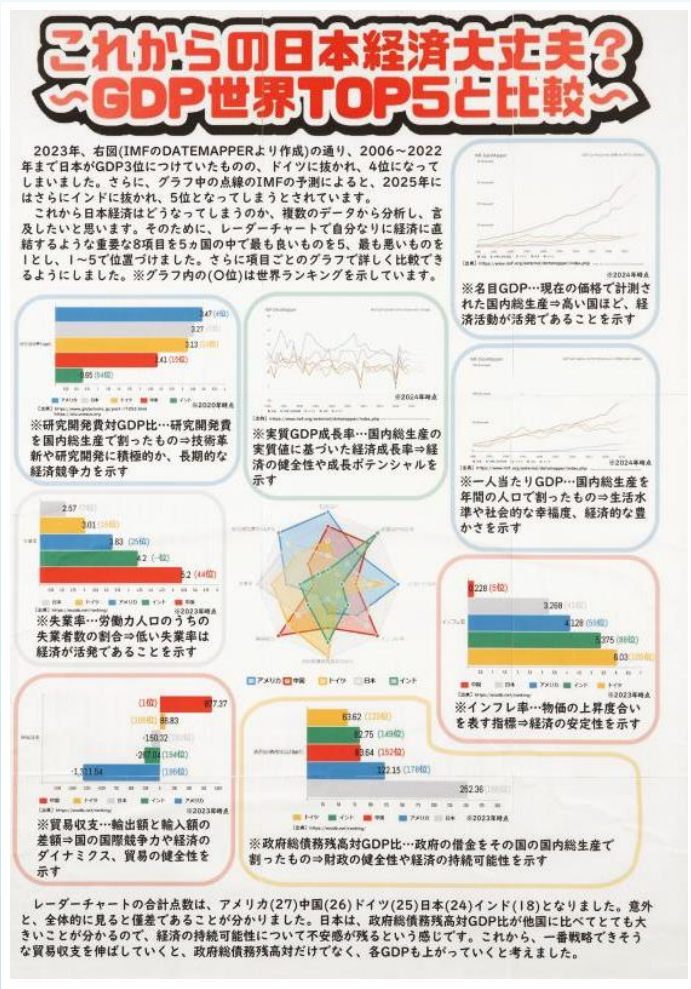
再配達が及ぼす影響

さいたま市立大宮国際中等教育学校 3年 杓岡 愛唯

全国コンクール入選

近年話題になっている再配達について、課題を環境問題と労働問題とのかつながりからとらえ、現状調査と関連させた結果がPCで作成したグラフで表わされています。その結果を踏まえ、一人ひとりができる再配達を減らすための工夫が提言されています。

第5部(小中学生のPCの部)



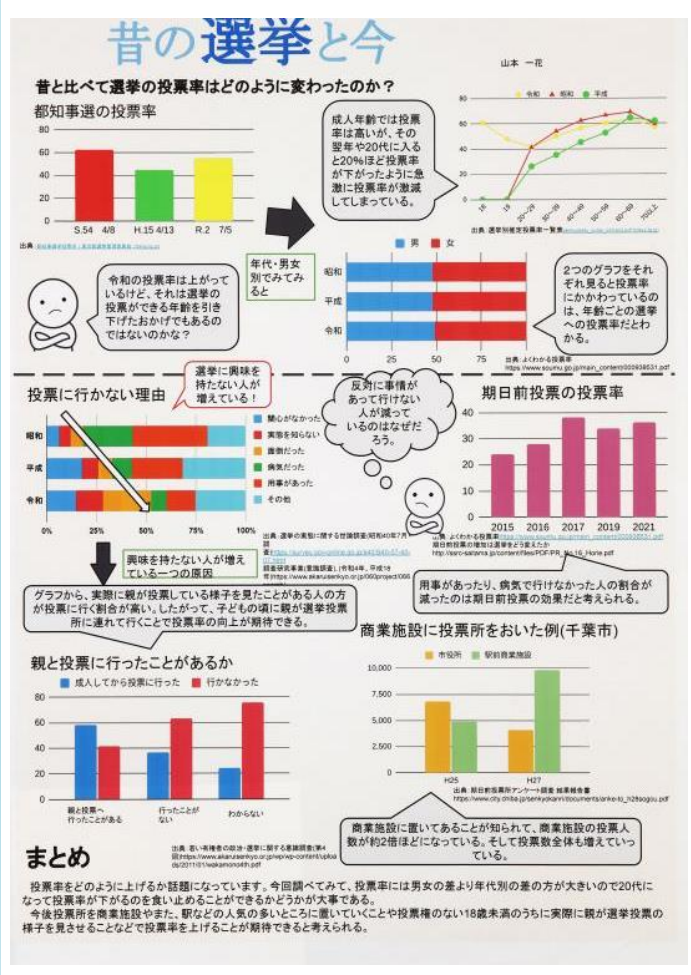
これからの日本経済大丈夫？
～GDP世界TOP5と比較～

埼玉大学教育学部附属中学校
2年 福田 真叶

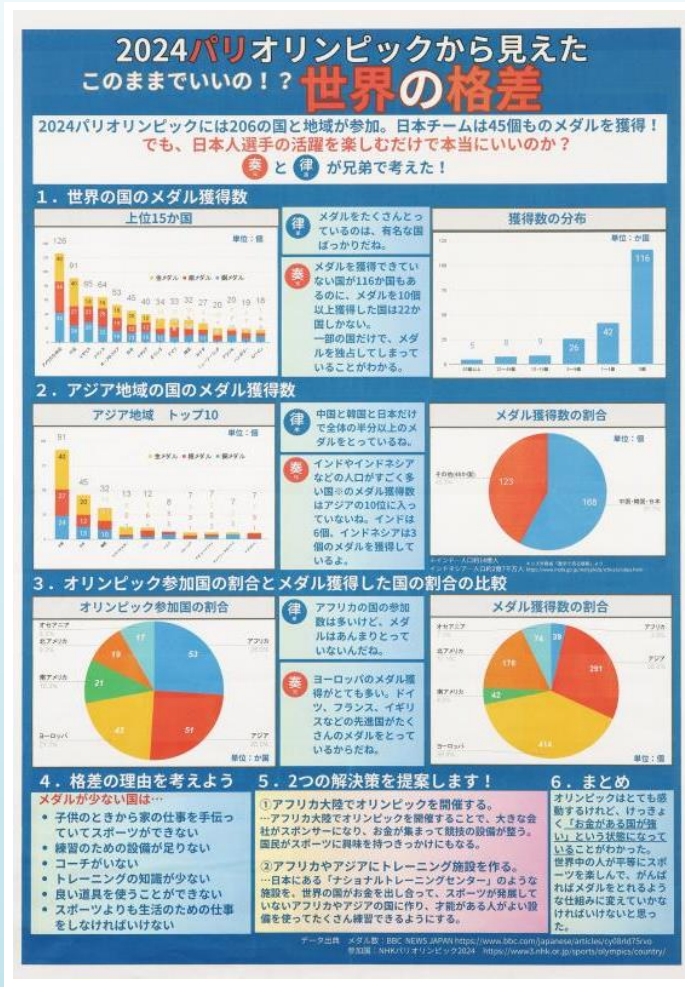


昔の選挙と今

佐藤栄学園栄東中学校
2年 山本 一花



第5部(小中学生のPCの部)



2024パリオリンピックから見たこのままでいいの!? 世界の格差

川越市立川越第一小学校 5年 高橋 奏 2年 高橋 律

さいたま市を愛そう!

さいたま市立大宮国際中等教育学校 3年 佐藤 紗永



第6部(高校生以上の手描き・PCの部)



絶滅危惧種『タガメ』を増やそう～3年目の研究～

高橋 良和

さいたま市立南浦和小学校 5年 高橋 岳 3年 高橋 歩

全国コンクール 入選一席

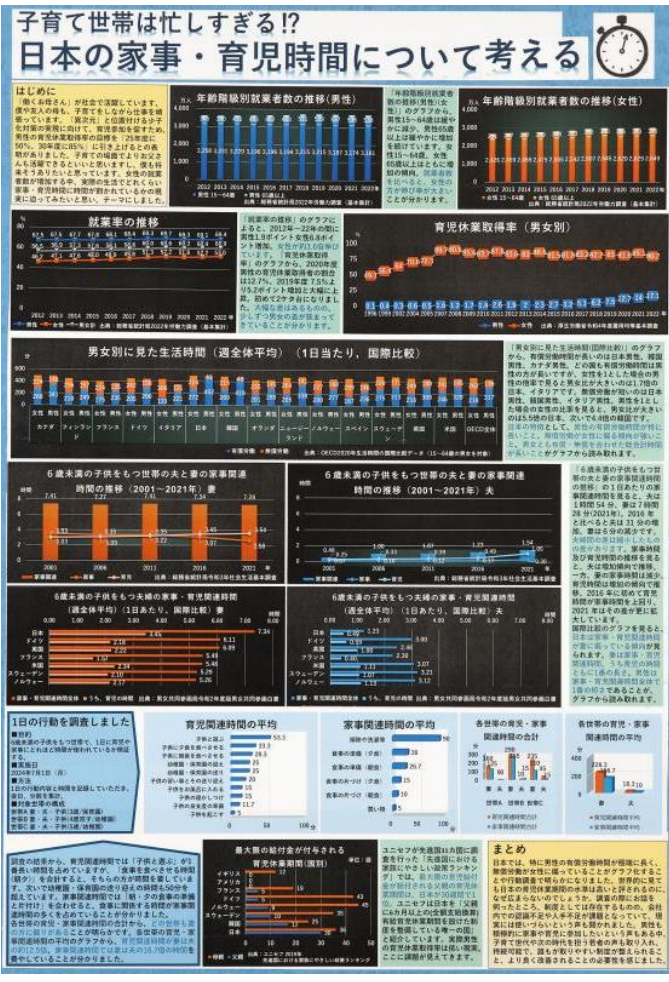
繁殖のために自宅で飼育してきたタガメについて、記録を細かく蓄積し、産卵、孵化、孵化から羽化、成虫へと、それぞれの段階の課題に対して、結果が効果的にグラフ化され、結論と今後の方策に至っています。何より、繁殖のために家族で工夫を重ねながら継続して育てた結果と 생각이表現されています。

埼玉県
教育長賞
(2等)



第6部(高校生以上の手描き・PCの部)

埼玉県
統計協会
会長賞
(3等)



子育て世代は忙しすぎる!?
日本の家事・育児時間について考える

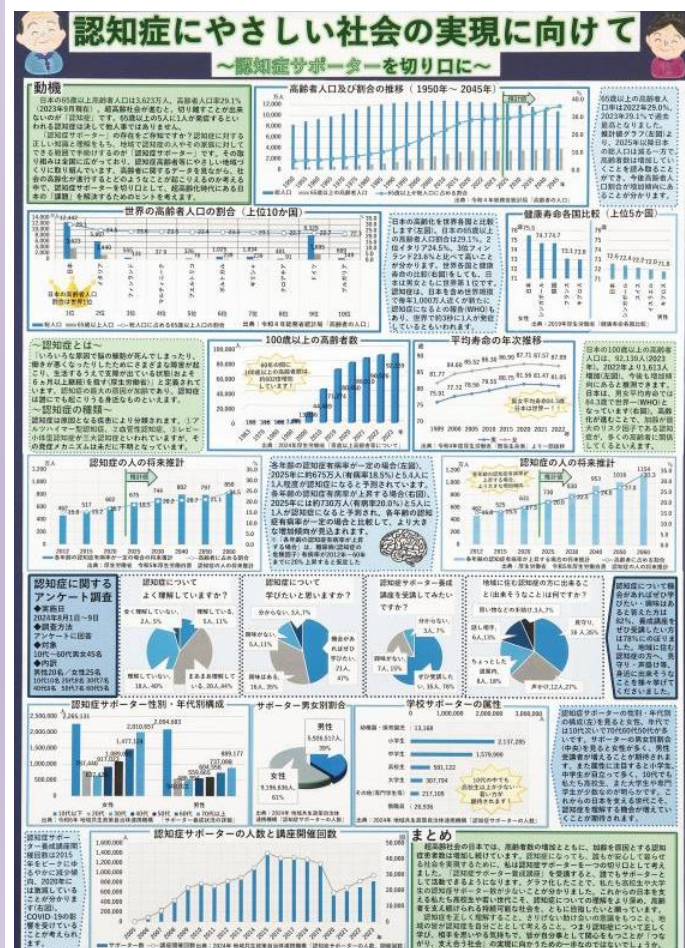
学習院高等科

1年 青木 悠真

認知症にやさしい社会の
実現に向けて
～認知症サポーターを切り口に～

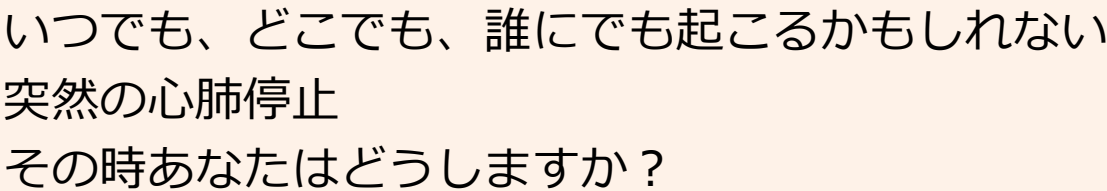
学習院女子高等科

2年 青木 美咲



埼玉県
統計協会
会長賞
(3等)

埼玉県
統計協会
会長賞
(3等)



-24-

審査総評

例年通り、日常生活で感じている課題に対して、アンケートを取ったり資料を調べたりして得られた統計を、グラフ化して解決に導くという作品が多く見られました。調べる対象も身の回りの人や日本全国、海外など、多角的・多面的によく分析している作品もあり、視点・題材選びが新しい作品が目を引きました。

こうした作品の中で、統計グラフから得られた結果について、論筋をしっかりと立てたうえで、自分の言葉で語ることが出来ている作品の評価が高い結果となりました。

今後も、アイデアの見せ方や、見る人がどういう風に考えるのかという点を考えて、色々な視点で物事を多角的に分析して提言まで結びついている作品が増えることを期待しています。

〇審査員

金銅 孝（埼玉県統計教育研究協議会 顧問）、石川 顕一（埼玉県統計教育研究協議会 会長）
岩崎 貴紘（埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課 指導主事）、福田 和有（埼玉県総務部統計課 課長）

応募・審査結果一覧表

部門	応募作品数	応募者数	応募学校数	入賞区分(入賞作品数)			
				1等作品数	2等作品数	3等作品数	奨励賞作品数
第1部(小学1・2年生手描きの部)	23	27	18	1	1	3	1
第2部(小学3・4年生手描きの部)	71	118	31	1	1	3	1
第3部(小学5・6年生手描きの部)	67	122	30	1	1	3	1
第4部(中学生の手描きの部)	63	88	9	1	1	3	1
第5部(小中学生のPCの部)	80	120	17	1	1	3	1
第6部(高校生以上の手描き・PCの部)	10	17	5	1	1	3	0
合計	314	492	延べ110 実質68	6	6	18	5

学校奨励賞	3
-------	---

このコンクールは全国コンクールの第一次審査を兼ねており、各部門の上位の作品20点を、公益財団法人統計情報研究開発センター主催の「第72回統計グラフ全国コンクール」に出品した結果、6点が入賞（入選一席1点、入選3点、佳作2点）しました。

審査の基準とそのポイント

- 1 主題（表現の適切さ、新鮮さ）**

 - (1) 主題に新しさがあり、興味を喚起するものであるか。
 - (2) グラフは、主題を適切に表現しているか。
 - (3) 主題に対する掘り下げ方は適切か。

2 資料（適正な選択と加工）

 - (1) 資料の選択は適切か。
 - (2) 資料の理解に誤りはないか。
 - (3) 資料の加工、解析は正しく行われているか。
 - (4) 第1、2部については、自己観察、調査に創意工夫の跡が見られるか。また、観察、調査の方法が明らかであるか。
 - (5) 資料の出所を明記しているか。

3 グラフの表現技術

 - (1) 理解しやすい表現か。
 - (2) 文字や図のバランス（レイアウト）及びレタリングは良いか。
 - (3) 配色は適切か。
 - (4) 見出しは適切か。
 - (5) 客観的に、作品が作成者の能力に応じているか。また、明らかに指導者の技法的介入があったと思われるか。
 - (6) グラフの選択は適切か。
- (7) グラフの描き方に誤り又は不適切なものはないか。
 - (8) 誤字、脱字はないか。
 - (9) 各数値は整合しているか。
 - (10) グラフと文章表現に不一致はないか。

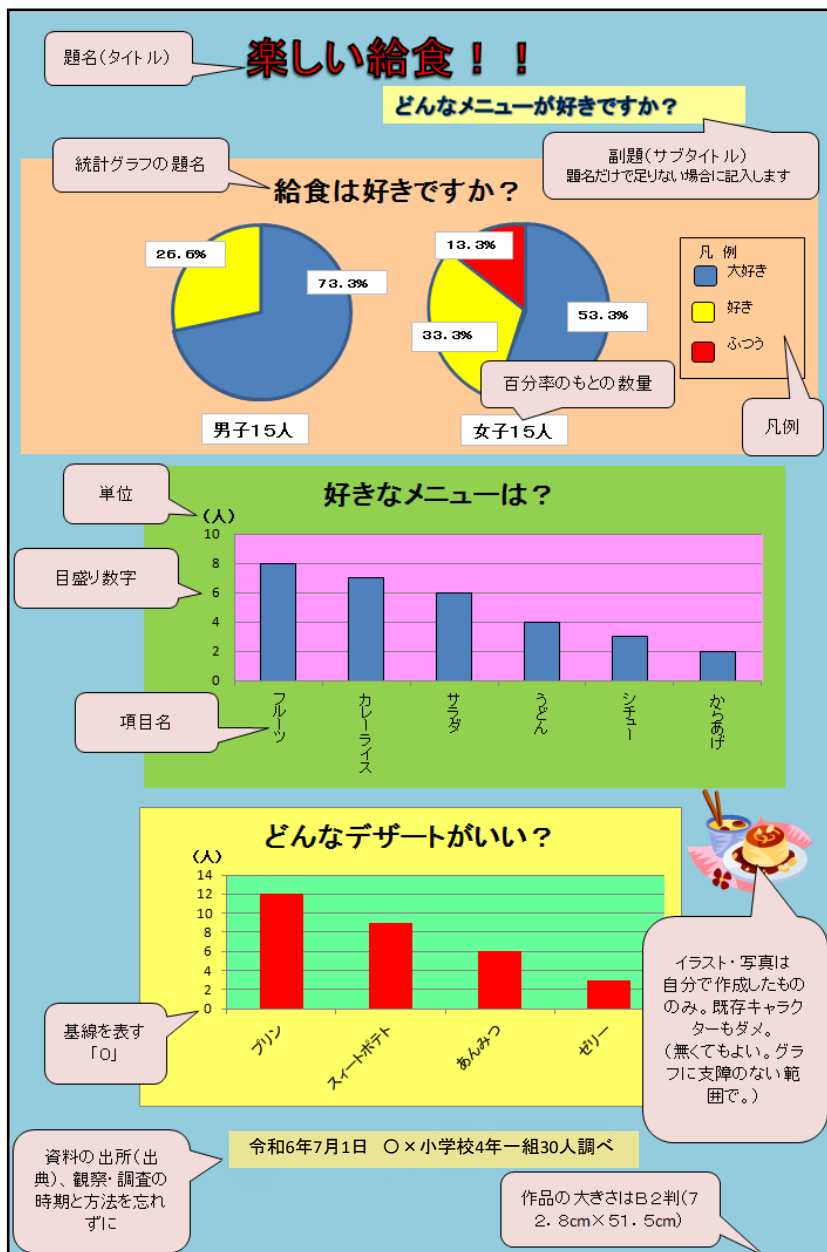
4 創造性及び全体の印象

 - (1) 全体の美観は良いか。
 - (2) 見る人に好ましい印象を与えているか。
 - (3) 見る人が容易に理解できるか。
 - (4) 創意工夫の跡が見られるか。

5 各別基準

 - (1) 第1部・第2部
子供らしい身近な課題をとらえて、ふさわしい観察・調査をし、グラフに表しているか。
 - (2) 第3部～第5部、パソコン統計グラフの部
ア 統計データを正しく理解して、グラフ化することによってデータのもつ事象が理解されやすくなるよう、工夫されているか。
イ 訴えたい主題が的確にグラフに表れているか。また、主題は斬新で興味を喚起するものであるか。
ウ パソコン統計グラフの部では、パソコンの機能を十分に活用したものであるか。

統計グラフのポスターの作り方のヒント（レイアウト例・間違えやすいポイント）



統計グラフのポスターは、①「訴えたいことがすぐに分かること」と、②「統計グラフの内容が正しく相手に伝わること」が大切です。

①について：

統計グラフにストーリー性を持たせて、「起承転結」などの順（順番を入れ替えても可）に、分かりやすく配置してください。

また、題名（タイトル）は作者の意見や感想を込めて表します。題名がある四コマ漫画のイメージです。（漫画のセリフ＝各統計グラフのタイトル）

②について：

各統計グラフにはそれぞれ特徴があります。その特徴を理解し、伝えたいことを適切に表現できるグラフを選び、正しく表記してください。

単位や目盛り、基線の0、複数回答かどうかなど、ポスターを見た人が誤解しないよう、統計グラフを作る上での決まり事はしっかり守って記載しなければいけません。

また、資料の出典、観察又は調査の時期・方法・対象者の属性（〇〇小学校〇年〇組など）、対象者数は記入もれないようにしましょう。

観察又は調査の記録などの統計表の付け忘れや誤字・脱字にも注意しましょう。

小学生以上ならOK！

夏休みの自由研究にも最適！

テーマは自由

**皆さんの作品
お待ちしております！**

埼玉県マスコット
「コバトン」



第75回埼玉県と統計グラフコンクール作品募集

○応募資格

小学生以上

○テーマ

自由。ただし、小学校4年生以下の児童の応募は、自分で観察又は調査をした結果をグラフにしたもの。

○用紙

B2判（72.8cm×51.5cm）

○締切日

2025年9月上旬予定

○問合せ先

埼玉県総務部統計課企画指導担当
（電話：048-830-2312）

募集要領及び入賞作品集は、埼玉県のホームページ「彩の国統計情報館」

（下記QRコードからご覧ください。）
にも掲載されています。

次回の募集開始は、2024年6月の予定です。



